



「あなたにとって〇〇とは？」—言葉について考える—

校長 三村 孝志

平成28年度「国語に関する世論調査」の結果が9月21日に発表されました。項目「気になる言い方か」では、次の5つについての調査結果を載せています。

- ① うそをついてあとで後悔した
- ② 早起きして行ったのに、順番を一番最後にされた
- ③ 今年の元旦の夜は、みんなで初詣に行こうよ
- ④ その方法は、従来から行われていたやり方だ
- ⑤ まだ未提出の方は、提出してください

みなさんは、この言い方が気になりますか。気になる人が最も少なかったのは、④でした。どこがおかしいのでしょうか。考えてみてください。わからない場合は、先生に聞いてみましょう。言葉の使い方は、時代によって変化していきますから、正しいかどうかの判断は難しいと思われまます。しかし、常に自分の使っている言葉を問い直す姿勢はもっていただきたいものです。

時々見るテレビ番組に「プレバト」があります。その中に俳句のコーナーがあり、芸能人が作った俳句を、俳人である夏井いつきさんが厳しく批評していくのですが、そのときの言葉がとてもおもしろいのです。イメージを豊かにするにはとか、どの言葉が無駄かとか、五感を生かすとはとか、自分が言葉を使うときの参考になることがたくさんあります。

9月19日の新潟日報に、夏井さんが「俳句甲子園」について書いていました。興味深く読みました。

いつも使っている言葉。深く考えもせずに当たり前話し、書いている言葉には、実に細やかな意味があり表情があることにハッとします。それは十七音という小さな器に言葉を並べてみて、初めて気付ける発見だ。心躍る瞬間だ。

夏井さんは、いい句に巡り合うと「体中の血が奇麗になる」とも言っています。言葉のもつ力です。

私たちの身の回りには、たくさんの言葉があふれています。インターネットの普及で、私たちが触れることができる言葉の量は以前よりかなり増えたと思われまます。身の回りの大人が話す言葉、新聞の言葉、本の言葉は以前もありました。今は、本の題名を入力すると、匿名であるけれども、たくさんの感想を読むことができます。以前では触れることができなかったものです。当然、その感想にはすぐれたものやくだらないものがあります。

夏井さんは「俳句甲子園の魅力を一言で」という質問を「凡人的発想の質問だ！」と書いています。よくいろいろなところで使われる質問です。夏井さんも書かれています。ほかには「あなたにとって〇〇とは？」という質問があります。テレビのインタビューでよく使われています。「あなたにとって野球とは？」「あなたにとって文学とは？」「あなたにとって家族とは？」。テレビを見ているおじさん(私)は「いかげんにしろよ。一言で言えるわけがないだろう」とテレビに向かって言ってしまいそうになります。あまり深く考えたわけではない、浅薄な言葉が流通していきます。その結果、考えなくなってしまうのではないかと危惧します。

正確な言葉、深い言葉、力強い言葉、美しい言葉は、私たちが生きている世界に対する深い関心や強靱な思考の持続、他者に対する敬意そして言葉に対する謙虚さ、絶えざる吟味などからしか生まれません。ネットの世界に流通しているわかりやすい言葉は、そのわかりやすさゆえに虚偽であると断定したくなります。

「あなたにとって野球とは？」は「凡人的発想の質問」であり、「〇〇さんは〇〇な人だ」といって、わかったようになってるのは単なる決めつけでしかありません。その人を一言で表す言葉などはありません。言葉は不完全なものです。

普段自分が当たり前のように話している、書いている言葉をもう一度見つめ直してみませんか。